怪
奇
毛
録

年古庵宗匠撰

天 江戸住 六十五
地 六十四 粹文林
人 仝 ㊥四四

梅帝堂評
天 ㊥七十五 素宗園
地 ㊥七十三 梅堂
人 七十五 傑衣

和風亭評
天 ㊥七十四 梅帝
地 七十四 素雀
人 五十七 風琴

月口舎評
天 ㊥七十五 素庵
地 ㊥五一以 梅帝
人 ㊥五一 南枝

過日庵宗匠撰

天 ㊥五三以 粹文林
地 仝 内亀
人 ㊥五一以 めい夢

素外 ㊥五 素宗園 七五三小 南枝 仝 竹雅 仝 素庵 ㊥三一 重楷

素外 六五四 梅堂 仝 仝 六五三 梅堂 六六三 梅園 五五四 和

過日庵宗匠撰

寒中七句

梅帝 梅堂 素宗園 梅堂 素庵 梅帝 南枝 梅堂 素雀 梅帝 南枝 梅堂 素雀 梅帝 南枝 梅堂 素雀

年末尊宮返歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年来ものしたる[illegible]
[illegible]
[illegible]

牛込神楽坂

羽團連月並

見沙門獻燈

催主 松喜 旭山 銀生

再吟十三夜

物のけをちらすやうに月の影うれ

下るべちり 喜金園

くらんやをきるの 堅けうるさうるさ

紅葉に色に陽て 楊の山 堅りうり素の

見ぬしくしと夜よ 伯了 国佳 一

風吉市市とさ 枝の色 松 伯

浮世をさおそ 陸の 子 乙 甲

仁のちらき梅を 梅乃人

わるしみ一樹のうめよおるきり 伯乃人

菓苗の伸び 月ゝて 梅帝

月ゝて夜を 花吉 伯

午さて風吉 梅の 花

菓てをまぬ人の 判者 祖 松

ちりとまるを水の月 仙 菓

日本橋長谷町
雲錦堂製

脇座主舟作　子十月廿七日　白六十事来

天　五〇風来　地　草雅　人生為勇人

夕　江喜　仙術　蕉十　枝直　新永　口四口不

古柳　血門　芝光　珍元　至隆　五七口ま

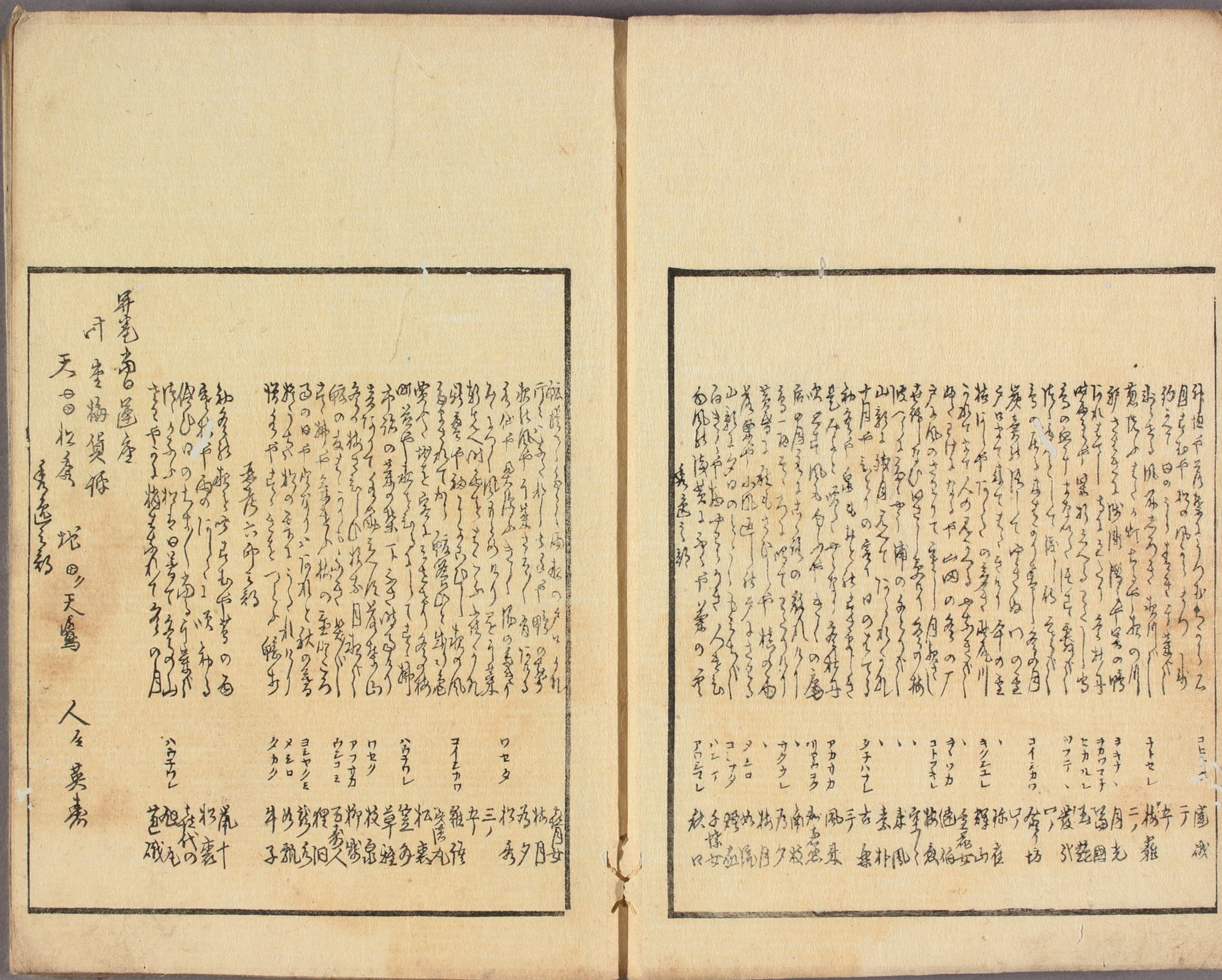
位古点之部

換火付きくのをくをくを板のうを中
まるの所ハつまるくてもなくくりくるる
ゆきの陸ハうくなりみくくをめぐる
見くくまるのくをき所中ト
ふるまるの山陸人かくくを義葉ト
ふせいけくを丘の山の人義きりを丈の重
釜山へ川中野赤くくれ出まりくを光
陸りを重の陸の日和を
りくれるを坂中和風ハ一ト志きり
目ちけのを動して宝紙ちりゆきの乃
り今めて一陸りを紙ちりて紙中
繁毒中の陸ちを海ちの紙
陸ちを中自中海陸をめけるの物
中自中海陸をめけるの物
風為の来中陸陸をつけるの
楊ちを中陸の大ちを
楊の大ちを陸自ちを小美山
くくひちのを中ちくくを
うを中ちを中ちくくを楊中松楊
寄丘一ゆくくくを楊中松楊
松一ト本松ちを中のをくを

ムシカハレ　柱　風
トキワ　表　自女
コヒナタ　志　ち
ユフきナ　ち　ち
タカタ　炎　光　木
、　陸　重
、　天　鶯
ユルマ　美　濃　も
、　珍　九
ツクト　九　ち
マスホレ　乃　葉
、　鼠　十
、　岱　物
ハレT　草　雅
ホルンレ　彦　陸　女　柄
ハヤウ　陸　来
、　旭　山
フキバケ　六　女
ワセク　老　原　女
アカ多　花　九

雲英末雄
54-09193

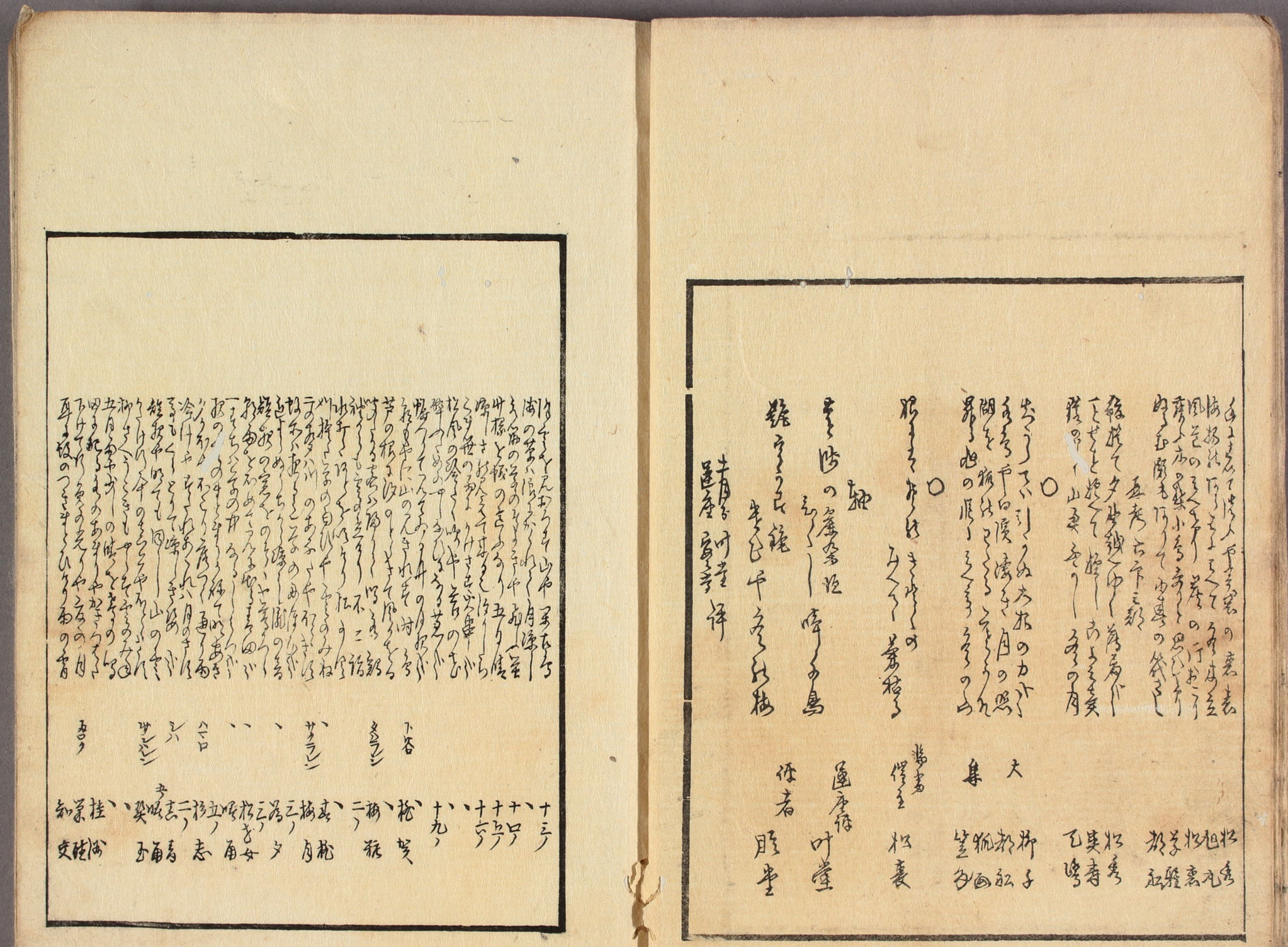
、カノハエ　花　菊
メタハレ　菜　川
ヲきまテ　枝　直
、　紙　人
、　面　秋
、　九
メテもワ　紙　人
ホセウ　写　秋　九
、　松　風
、　行　丁
、　二　糸
、　理　岡
、　枝　之
ミカスキレ　義　枝
ミラホリ　吉　直
ヤライ　野　柳
テルミマキ　九　女
、　岡　陸
クロもこ　本　嵐
ハカラ、　奥　岡
キヨト、　亮　月
ムレコミ　墨　山
、　柄　主　女
、　柄　子　嵐
、　柄　辛　柄
、　柄　子　柄　松
、　柄　秀
マメキレ　松
ワセノ　成



年尾書屋

寸生梅賀状

天日日松竹　蛇日ノ天鷺　人生英雄



再考六下

再考六下

再考六下

二應菴法橋普然判

月並句集

常磐連

壬子九月分

天保　稲太　地蓋　春松　人々　貞柳　清史　光忠

外　蓋滝　大樽　古雲　光明　東河　雪秋

九　貞柳　松湖

位五下

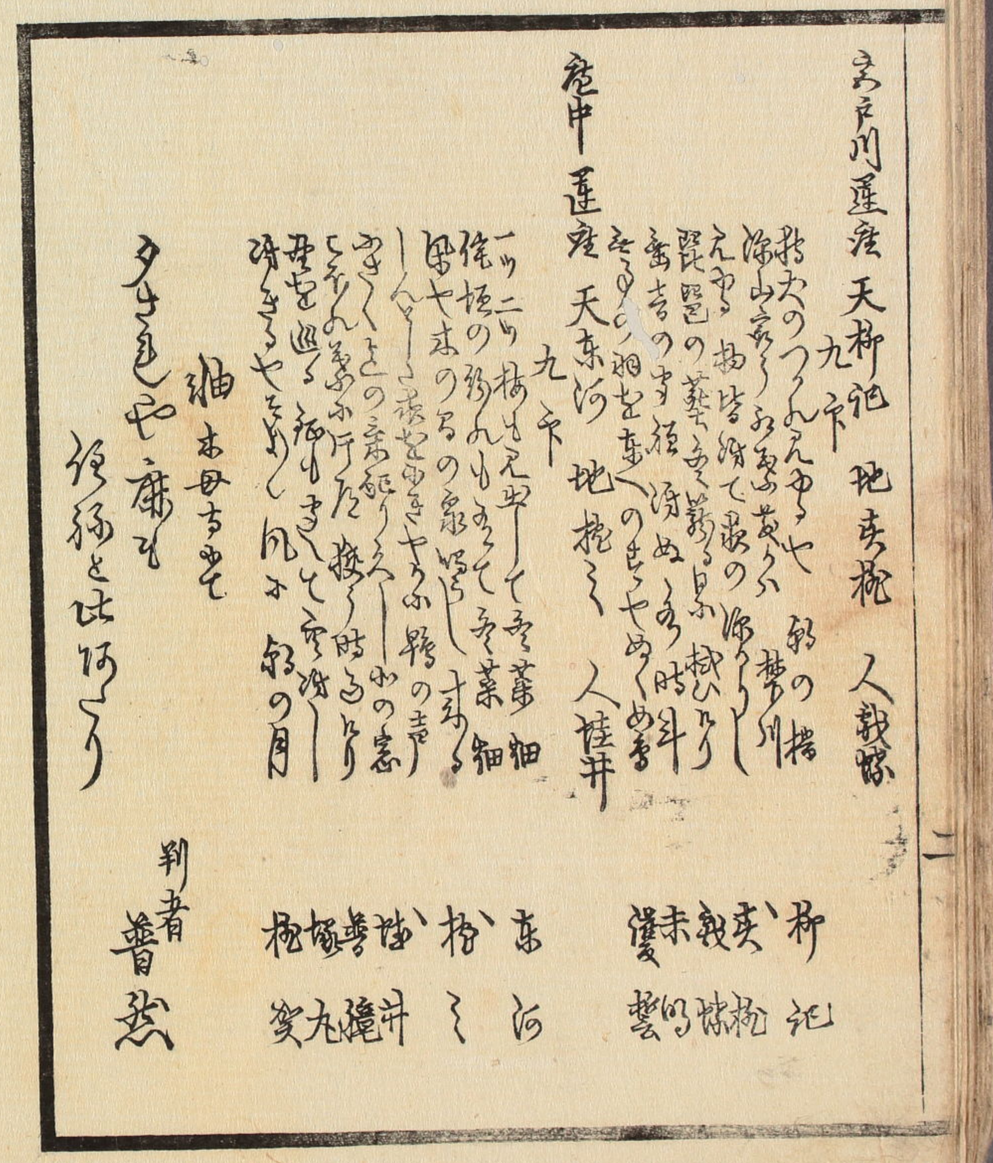
[illegible]

[illegible]

[illegible]

芝金杉弘沙門天
六印ハ上奉燈
月次発句合

竹之丞

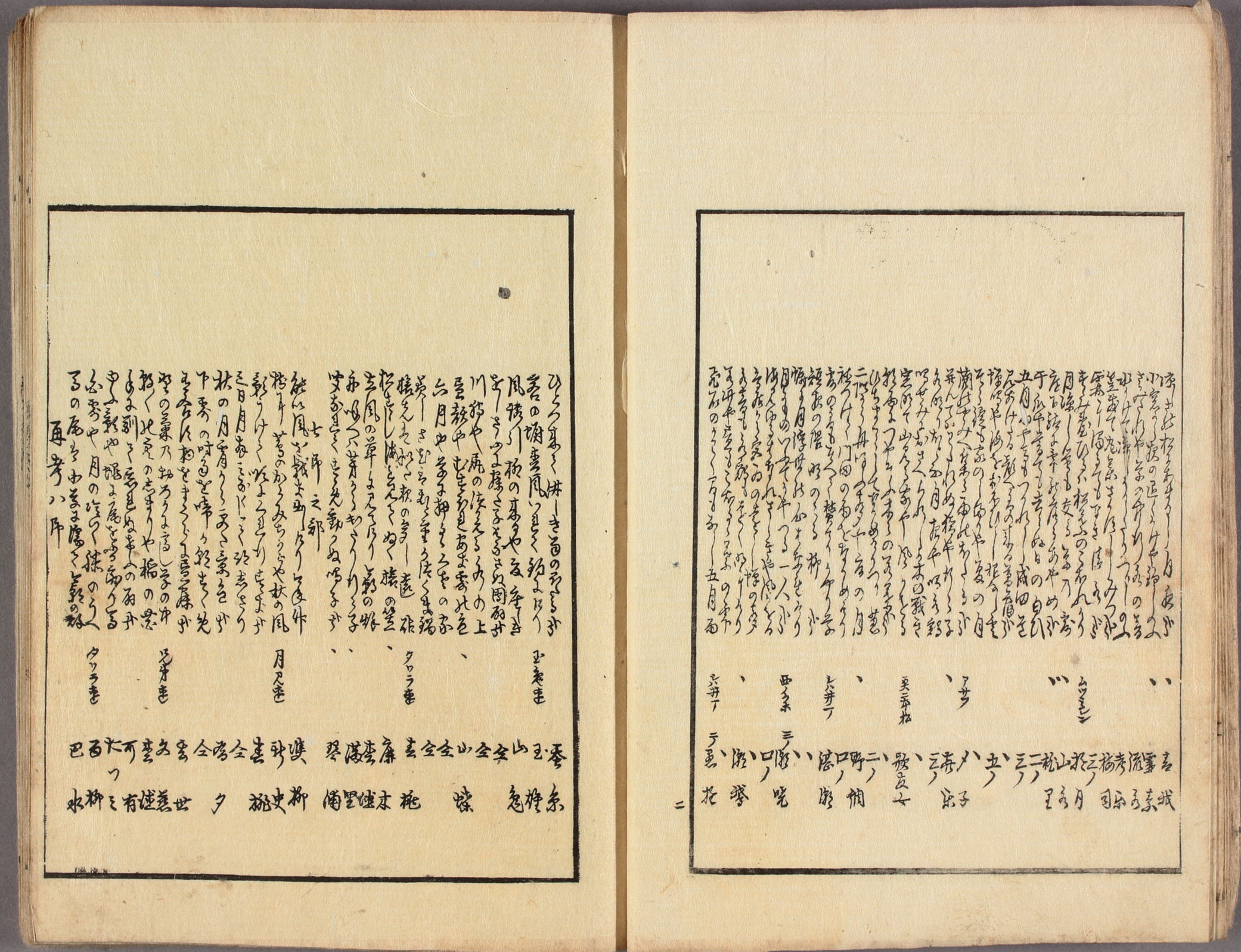


菓園有契評丑五月分五点以上

天　六番二句口、一句
地　七番一句口、二句
人　金

妓　菊園　ぬ紡　浜潟　巴屋　袁玉
外　柳月　月叟　桃里　松山　大久

一	鶴	鬼丸	ヒハ
	朝暁	西ノ糸	
			ムツミレン
		粥香	大モリ
		二ノ三	
		一ノ二	吹上
		口ノ吹	
		月ノ二	
		口ノ三	ヒキ板
		七ノ	
		八ノ九	
		十ノ十二	
		双ノ宿	
		二ノ三	ホ様ノサクラレン
キ	○	佐ノ吉	



蘿水舎 評

天 六〇五 桃蕾　　地 六〇六 素桃　　人 六〇七 柳居

[illegible]

番外　青枝　度河　彩史　桃晨　桃月

[illegible]

二郭主

[illegible]

全

[illegible]

前日題空

菜摘評

天　急月　　地　赤明　　人　鶯城

八印

[illegible]

六　印

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以下の下 金仏も俳諧 橋 菜 其 おぼ
家の内や家の掛の松の
日ましまりや 掛の掛の掛のくり 来 亮
外るゝ ふるひ ふくんくなあるふるの 掛 丸 紅葉し 小石川 滝 陰 亮
撫 ふるふくのうりて ふるのあ 下 雲 的 粧
ふるさやうる 家の日の ふるさ 掛 汁
以ちくすす 掛のよ 砂 ふ
別 家の 掛 ふ
下 枝 入 家 ふ 仏の 家 ふ の 川 京 ふ し 京 ふ 右 鼓 落
時 ふ ふ て ふ 仏の 家 ふ の ふ ふ し く 汁 る す 八 扇 拾
茶 の 内 や 家 を 掛 仏 仏 り 和 汁 月
十 月 の 家 拾 ふ ふ 掛 を 掛
和 の 掛 ふ て ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ
ふ 家 の 家 家 ふ ふ て 家 下 ふ の 白 カメサハ丁
拾 ふ 家 を ふ ふ て 家 の ふ ふ 泉 ハ し 拾 を 流
破 ふ ふ ふ れ て 家 ふ ふ ふ ふ 泉 ハ し 拾 泉 を
ふ り ふ ふ 硯 の ふ し ふ ふ ふ ふ 浦 を
夫 ふ ふ ふ ふ の 白 し 家 ふ 家 ふ 家 ふ 拾 を
目 ふ ふ ふ ふ の ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ

葛茂庵澤蛾斧

巻中六点〜紅葉郎

巨勢ヤ伐さ〜れ軍
榻ヤ女さうりヤ雪
暦さ〜〜灯新られてる海を愛る
雪よ伏芦の結ヤ
樹うゝりヤ寒ゆさ雪
芙蓉ヤさゝ雪朱さゝ雪
向日葵ヤ鶴の貢蕎人を
炎の焼すよ板の沈〜〜
雪の鷺〜〜雪の叫ヤ雪つる
穢垣ヤ暦のこゝれ雨入て砂る
柔の花ヤ砂よ能うる雪の鶏
風ヤ積て人ゆきゆ祢の栄
白雨ヤ雪うゝ雪の松笠木
海苔て〜河の宗助ちとり月
雪ゆゝひ辰雪さう乾さうり
氷のつゝゆ立羽のてゝ
ヤ雪駄丹花
雪

下我
釣糸
つる多
チトせ
東玉兎
多〜浦
兎月

貴ホリノ内
ヒノキ板
サクラレ
玉
春
栄枝女
弁若女
雪の女

月
玉
栄枝
弁若
雪の女

虫ひ〜〜〜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○

紅さしてるるさくら哉　梅月

○

ふるさとの人りやの雪の　桂山

海ちらし　梅月　桂山　保城

赤い　かの人　私も　為ゆ　夕次

主

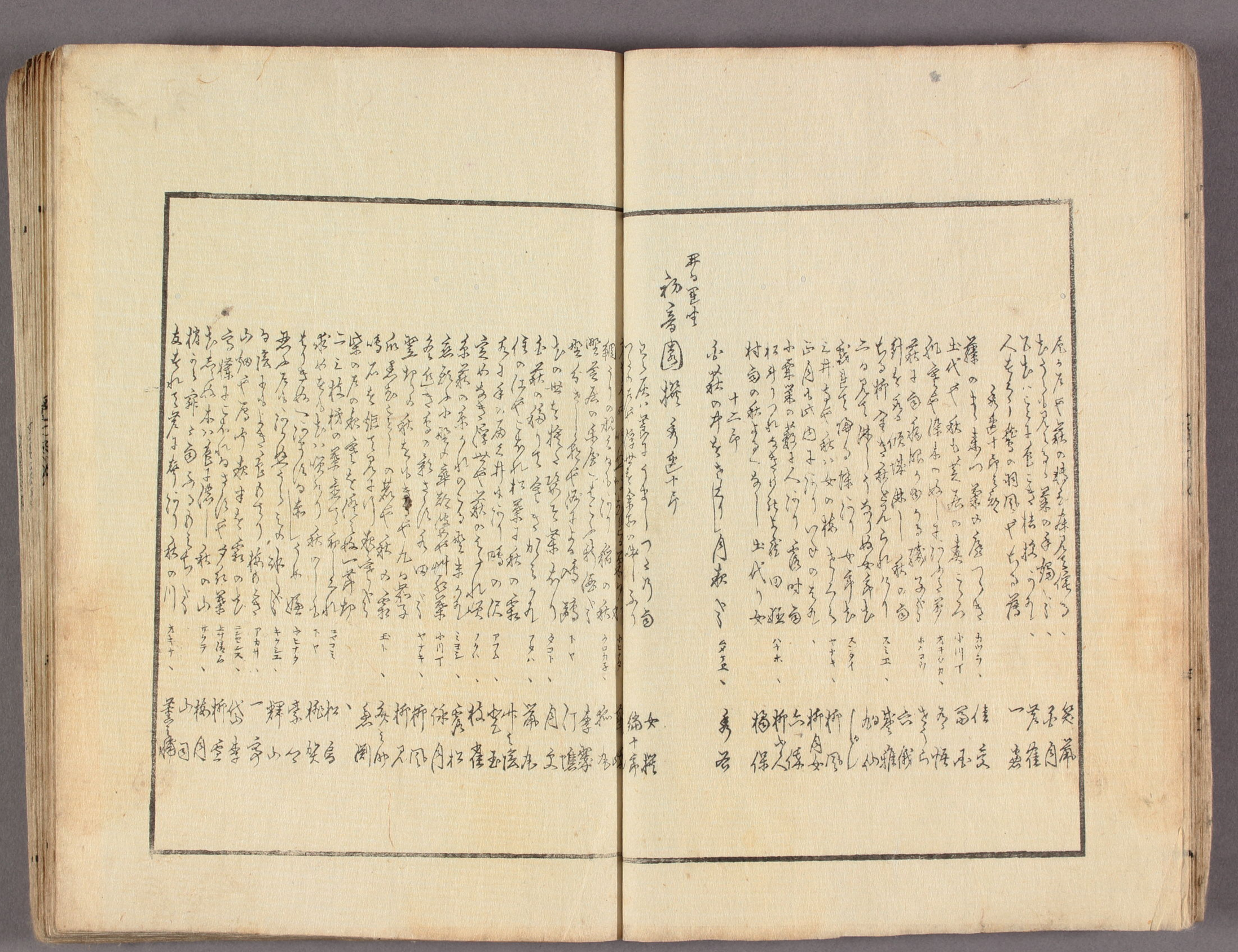
新信　舎燕

○

如燕　玉山

○

山



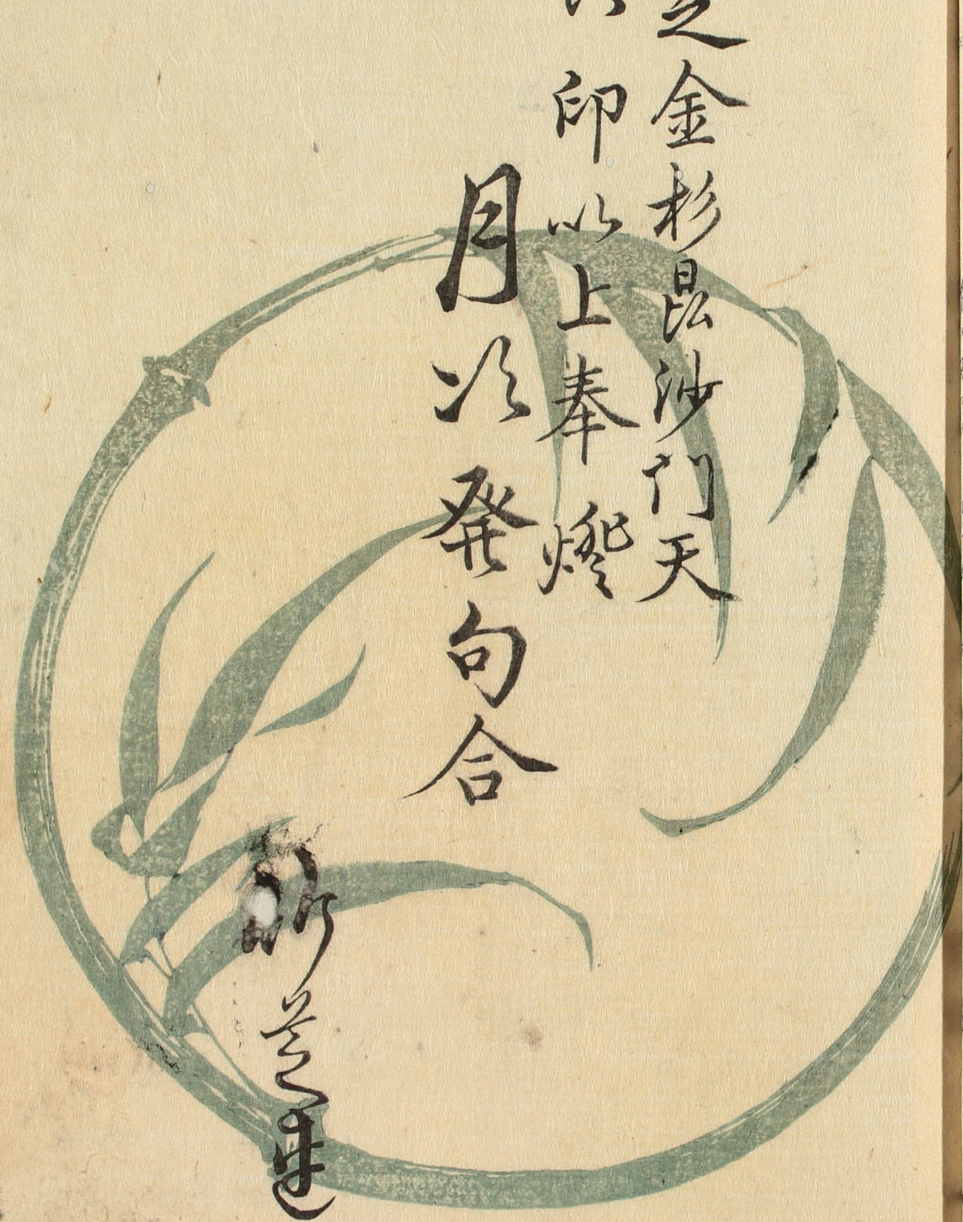
秋叶

[illegible]

[illegible]

[illegible]

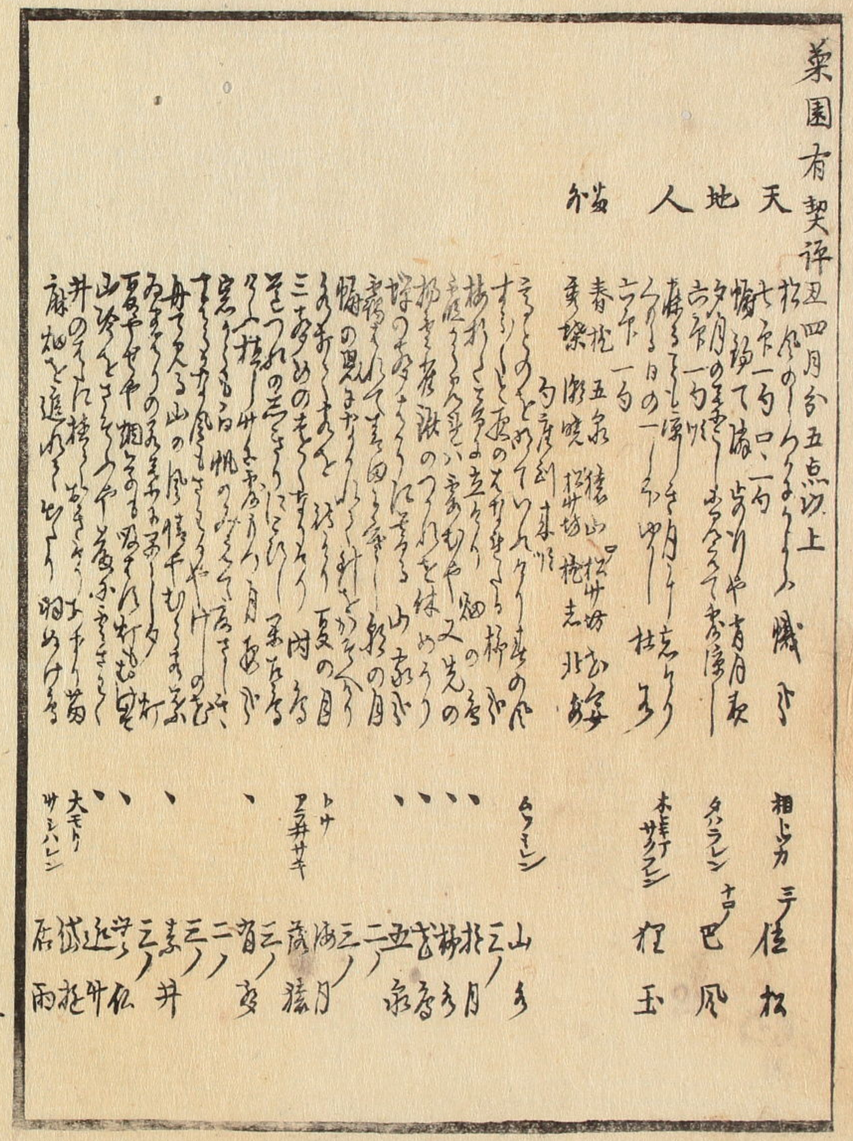
芝金杉昌沙門天
六印以上奉燈
月次発句合

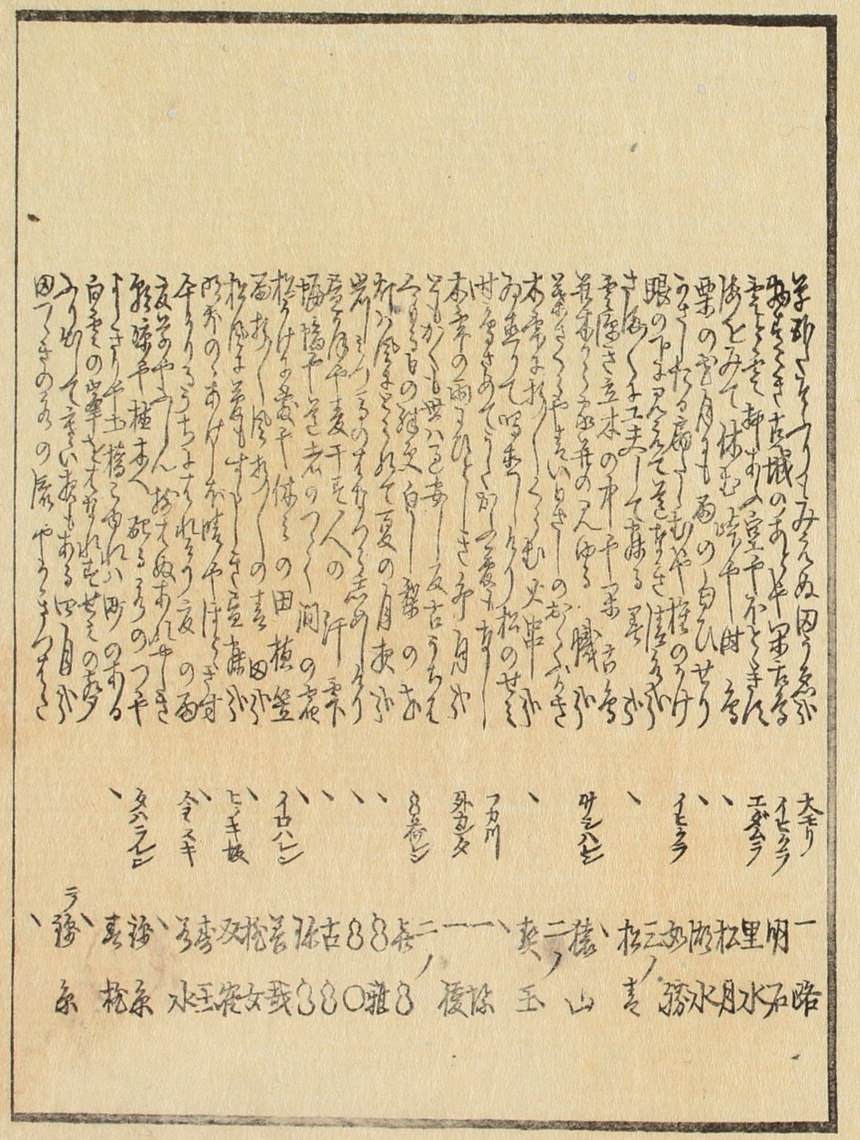


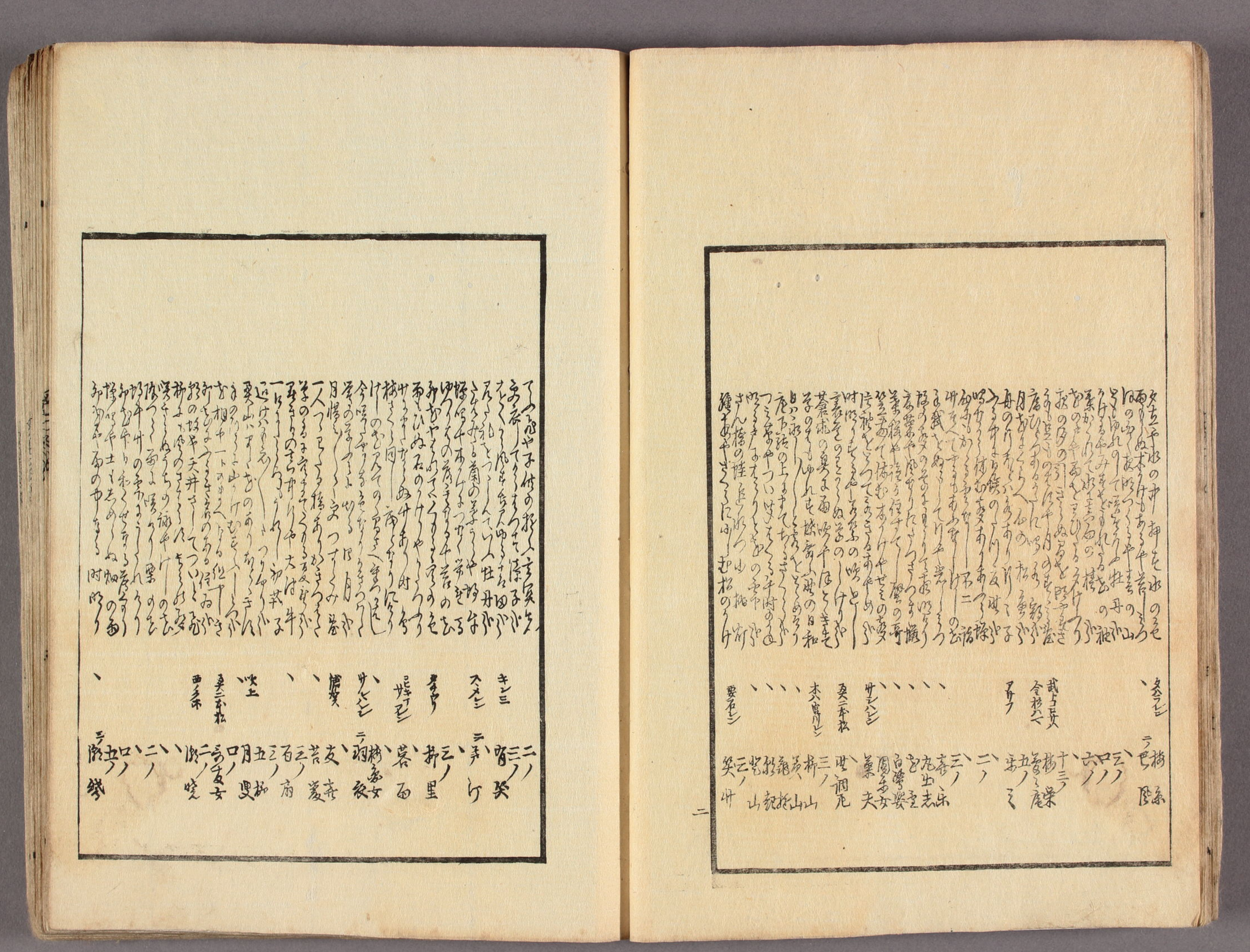
輝月庵撰

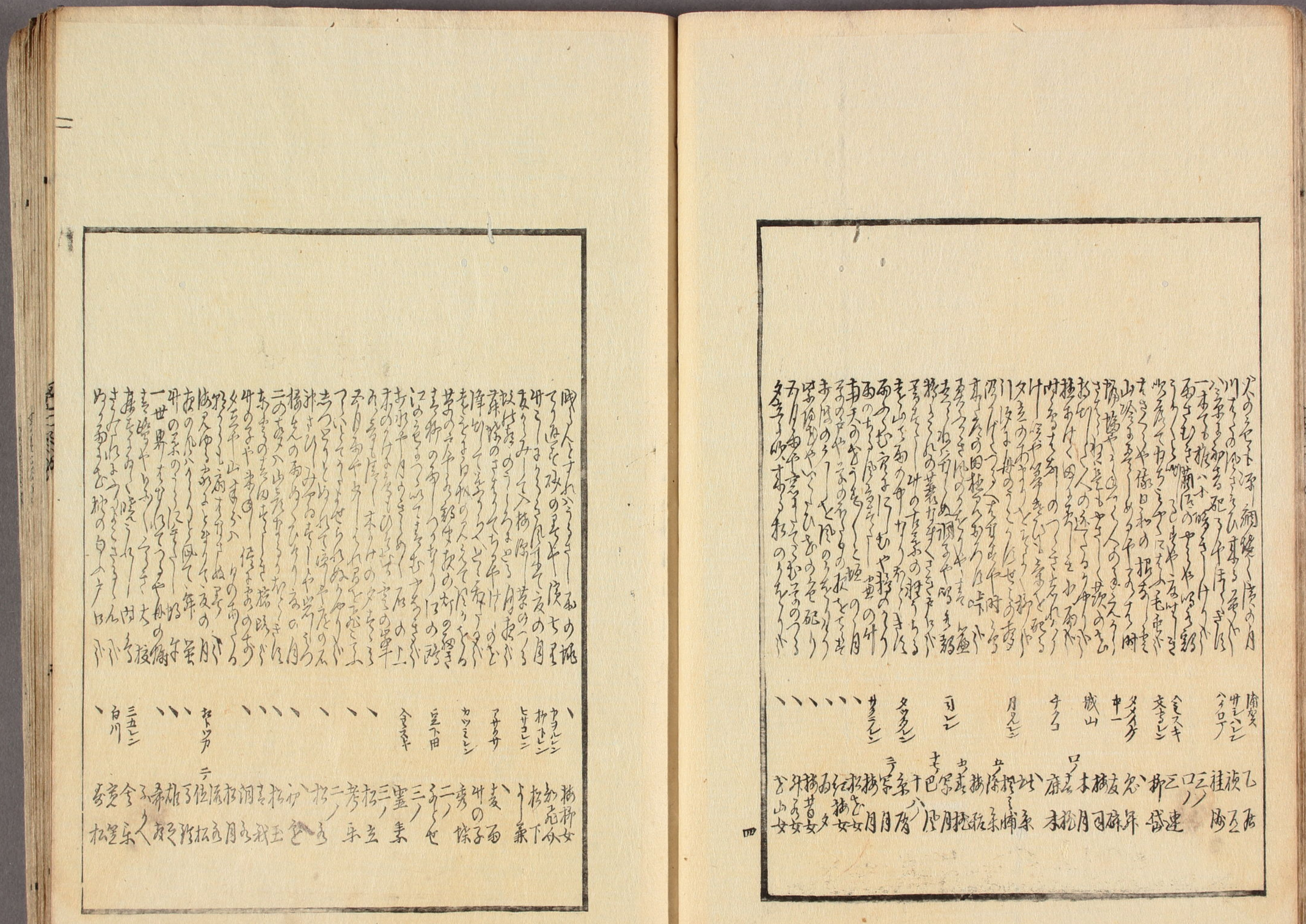
菓園有契評

天　地　人　外









葛茂庵澤我斧

宝暦六丙子年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

浅草宮戸川大神宮掛額月並三句合　癸丑二月分

朱雀堂桂山斧

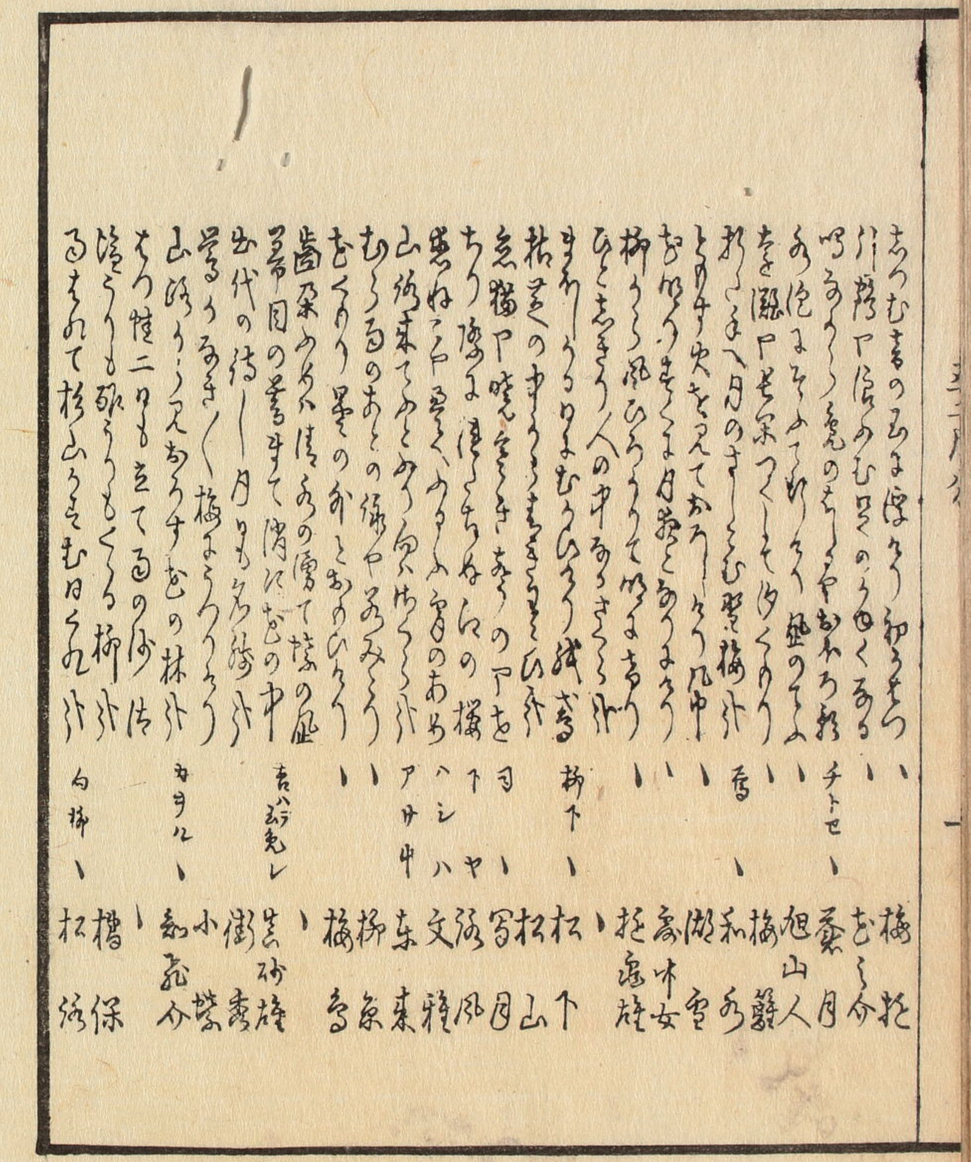
[illegible]

[illegible]

[illegible]

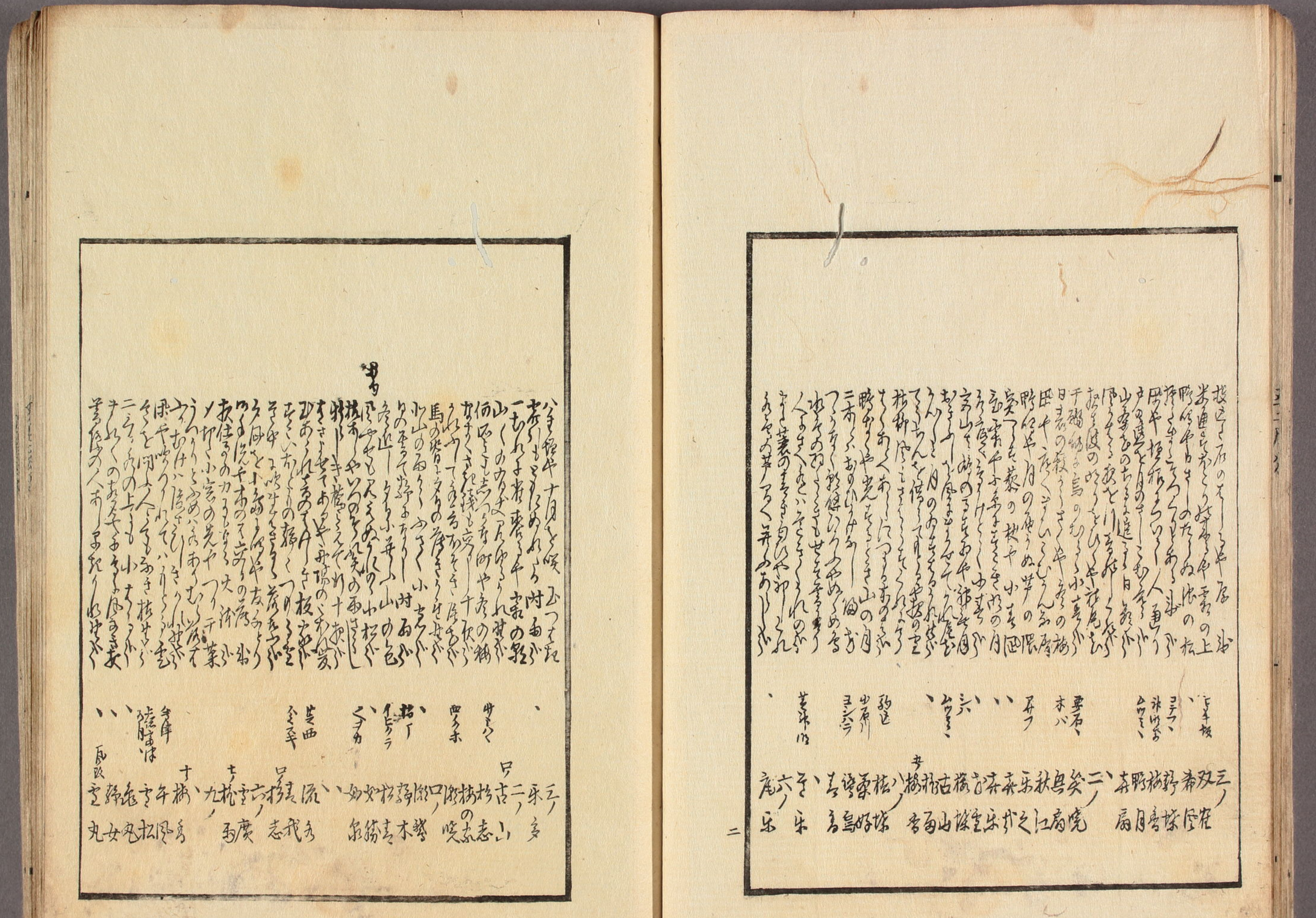
芝金杉昌沙門天
六印以上奉燈
月次発句合

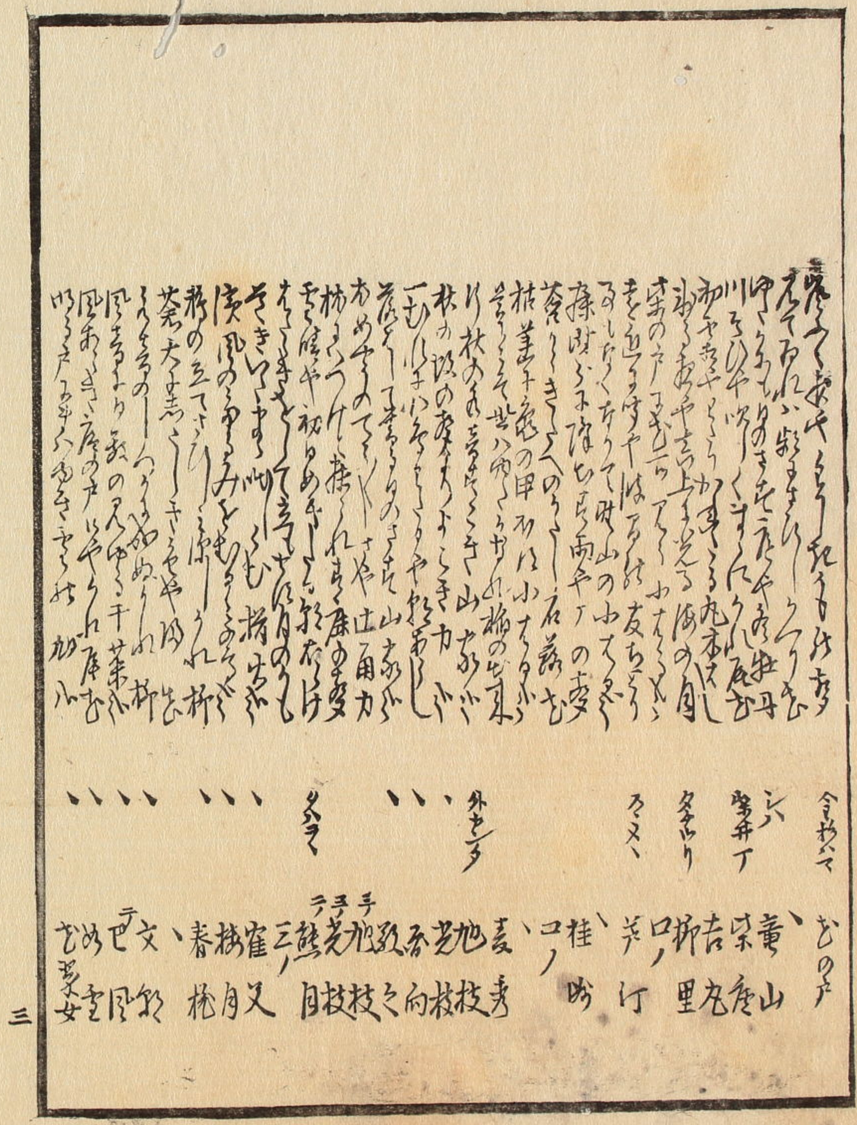
竹之丞

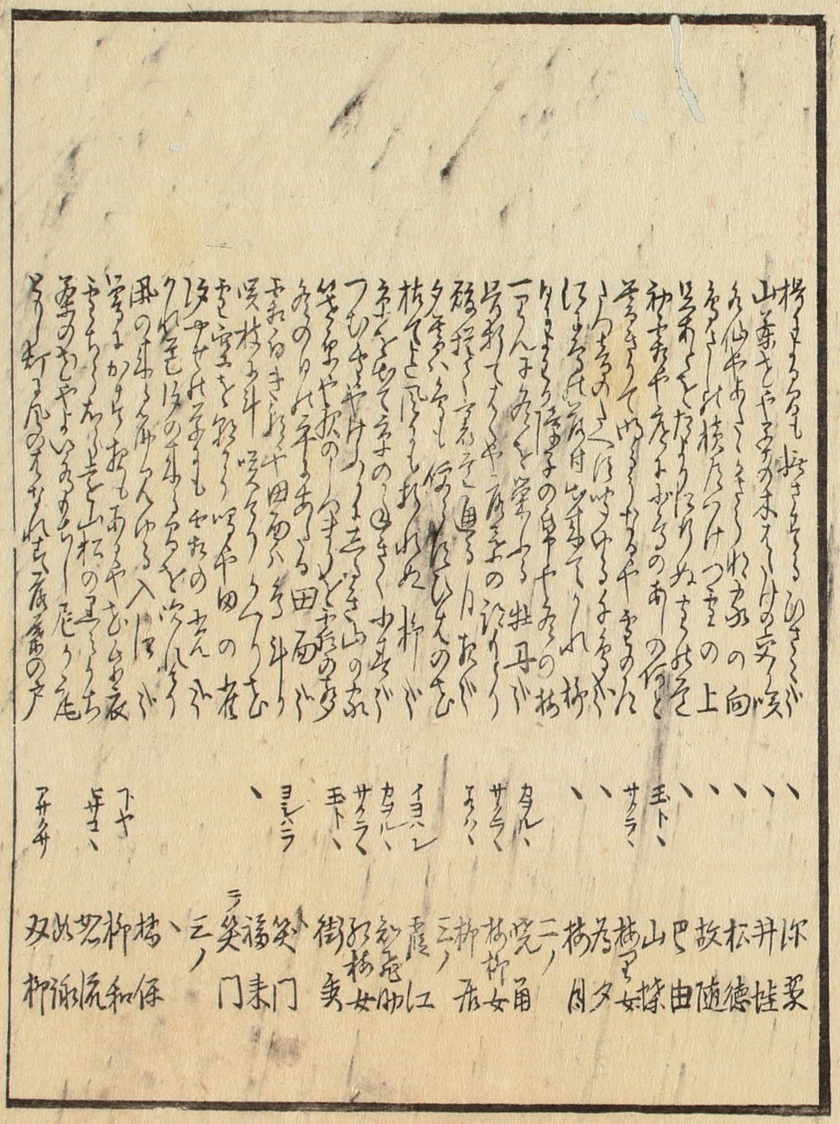


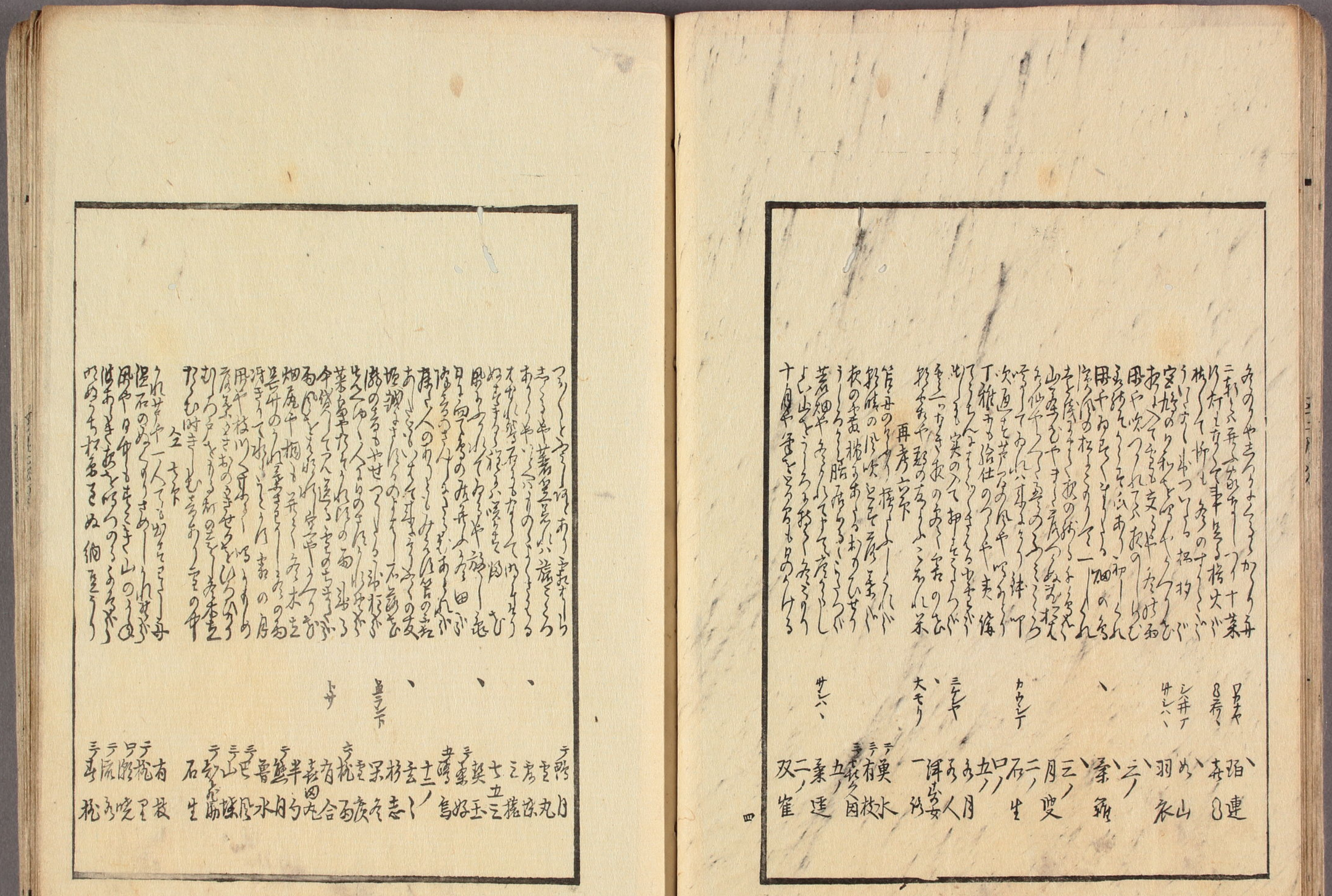
菓園有契評五十月分五点以上

天　有枝　三人
地　桃里　ムツミ
人　春桃　タヌマ　三ノ
備外　有枝　袁因　杉志　有声　如泉
蓮雨　山雀　只美水　笑門　羽衣









浅草太神宮額面

月次三句合

天　花里　地　居雨　人　蓬

仙　秀　由
仙　葉　青　隅　我　衣　玉　枝　有　葉　雨　契　有
秀　新　枝　玉　衣　我　隅　青　葉　仙

月次仕立

仙　秀
花　里　雨
房　水

月次仕立

有　葉

月次十一月分　秀春限定三句云　一評
右之通為正月初寅永代之額面立仕上
附句不仕上出来申候十五日仕立
仕立之句之内ハ切口ハ切ル之分金ハ銀ハ
南無天満宮　蓬莱軒評　蓬庵

鎌倉　鶴岡　評　春孝

仕立主　月次　杉志　葉玉

菊雪菴譜

天　牡宣　梅外　地　梅外

外　月野　梅山　月の光　白雪　夢仙　入　露月

十月分

佐立京の路　雪の色　スンガイ　翠柳夏　梅外　清川　松山

月き色　岩溪宣　岩溪　石

移る　月の光

山の月　月の光

人住む　陸山　月の光

梅の香　月の光

蕗の香　月の光

蕗の香　月の光

蕗の香　月の光

梅の香　月の光

蕗の香　月の光

梅の香　月の光

蕗の香　月の光

梅

菊亭蒼海 吉の運座

天 彩雲 地 汀月 人 筍丈

相生ハ杉ゆかしく秋の雨 沙君

笹の葉の水に映るや蓮の露 彩雲

一沖や月の目を射て美濃の国 汀月

一夏の月田の畦の蛙鳴く 蒼月

義の為に身を捨てし人の墓 汀月

物うき夢ハ覚めて引取る 蒼月

捨て去て地の蔦分る新枝 日布

遠雷の 笑

降出す

蛙さそふ 雲 檜

判者 吳傑

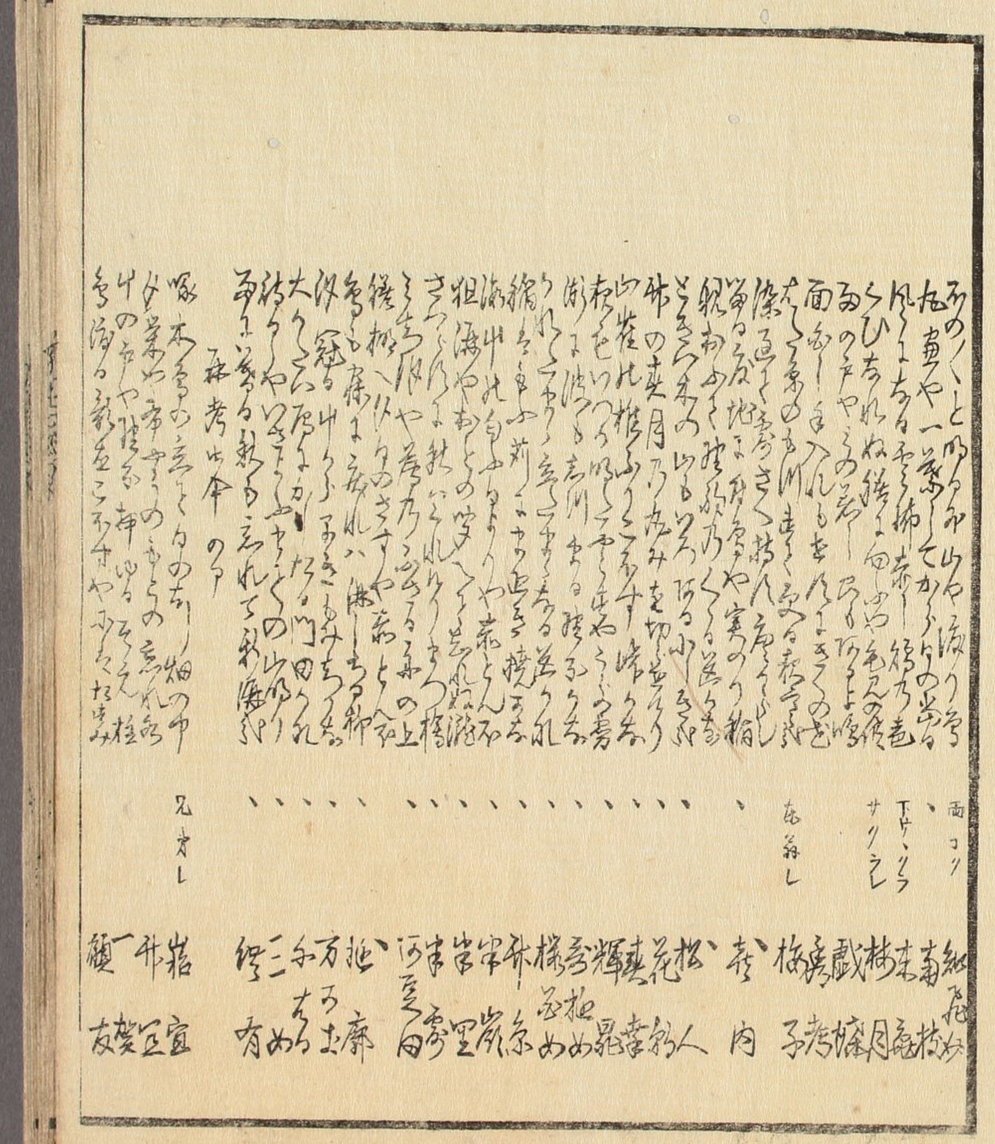
孫生蘆洋

天　地　人

四季菴義花義実修

天　地　人

之乎　菴宗院実修

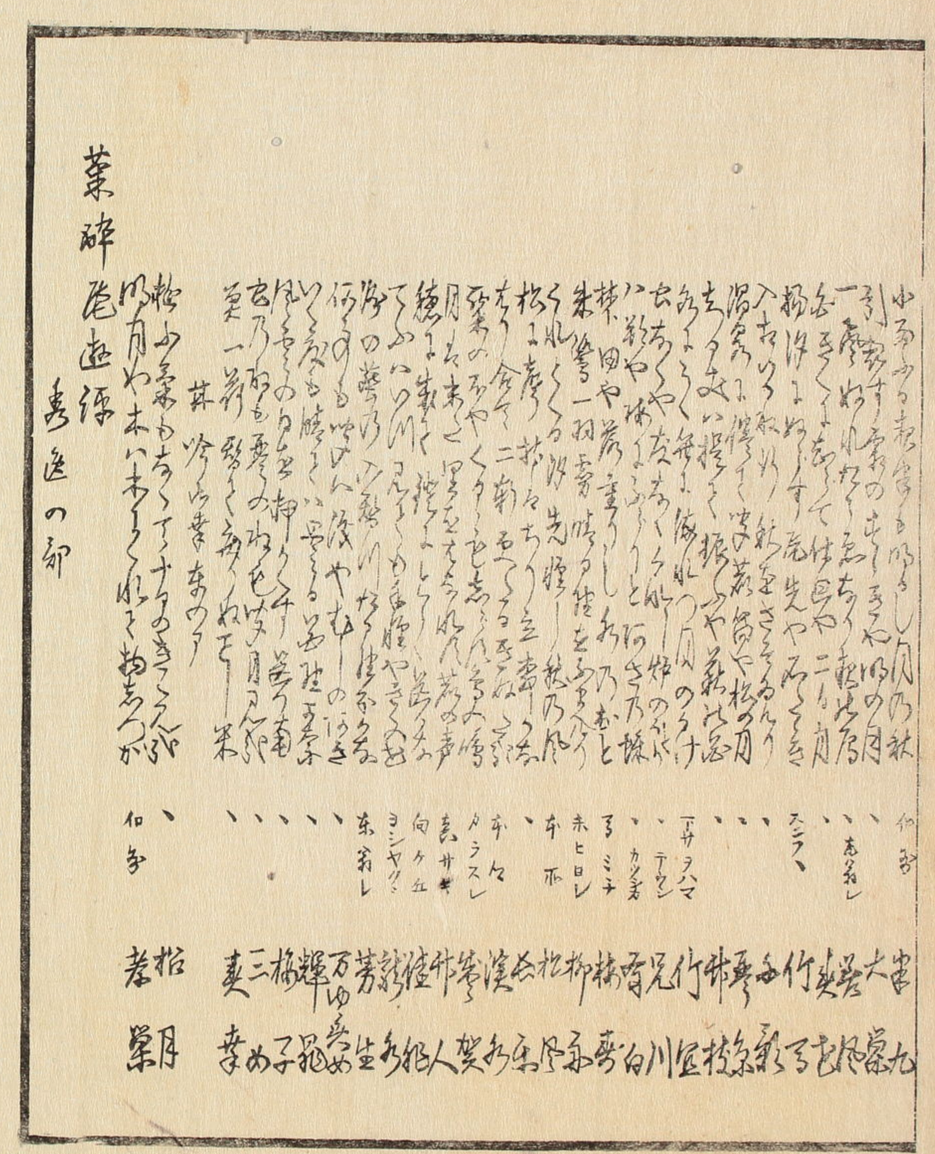


向嶺舍橋後矣伴

葉碎

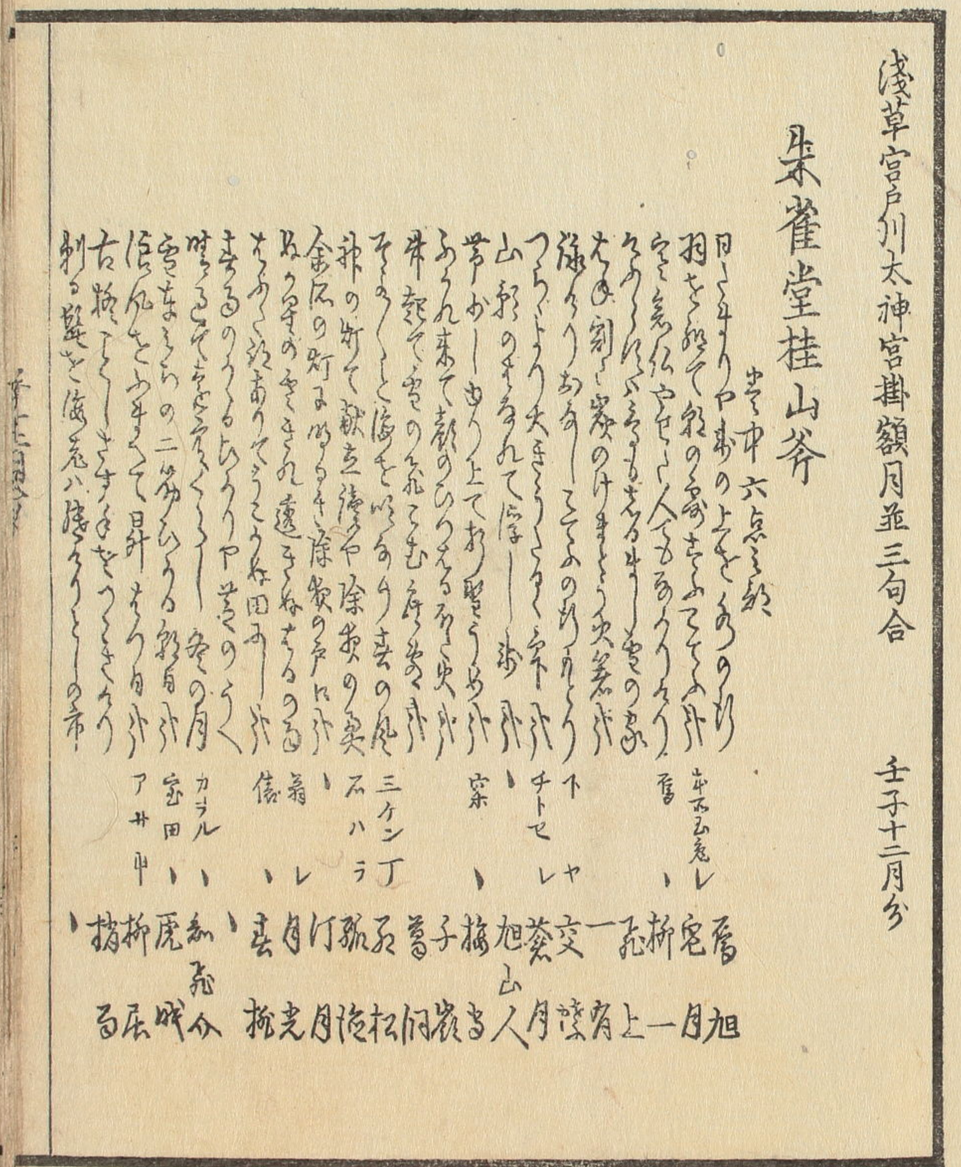
尾張 遠藤

春迄の卯



浅草宮戸川太神宮掛額月並三句合　壬子十二月分

柴雀堂桂山斧



[illegible]

五月　后光　素堂　去来　ホリ内　サクラレ　繍負　勝為　夕栄　玉女　石山　梅子　去来　月女　梅柳女　梅子女　去来　月女　梅子女　松むむ女　宗枝女　雪洲女　升子女

秀逸七句

蒲の穂子へうつる金解　香　鄙雪
雪の蔦と咲て赤しこの手ふり　葵月
遠雨子ロいつるさまれて行宗
蛍の燈るあるくあり私の下　去来
くさもあるくまもあるくさ[illegible]　兄弟
子よ家捨て鈴ぬくのうたうい　紅作
るのの人面よさしさ梅うれ　迷
本うくれもあくあるうの月　去来

サクラ　素堂　梅苔女

雲ってまくさまくて蓋の鮎　サクラ　凡切
蓋ののるく本くよくあるうれ　梅子女
木の戦　野去くあるうまろう　葉園

葛茂庵澤蛾斧

去来市六去来

月もりもあるそよのひとう　去来市
鈴子列幸や赤蛍行るのひと　光
松原や蓋途見蓋うれむ　去来
あるうれ口田仮干しうれ　
猪犬口蓋の蓋ふるうれ　
桃の名ノ口猪石及の紙ところむ　
鍵不口去行新を民帝て蓋　
とこの庵口蓋も塩ゆ山浦やまく　
干る強よまるのうるの葉　
芋の根の海ようまうの　
四蓋る一枝蓋のしろれ　
葵原うす林口老てもとの七日　
トけあくハ夜仮の家　
松口やくくうの去も蓋さくあき　
ようよ原て梅うく九月の蓋さ　
口入寸るうもうもうもうまくく　
鈴すもやきみまくくく口海の柳　
一つんハ去くものくれ　
松りくくまくの原まるれ　
ようく海海泉山まるれて顔汁　

去来　ホトセ　旭山人　蝶矢　梅吉　来　来　来　牡丹　汀　松　月　桃

[illegible]

[illegible]

[illegible]

筋違橋小路 梅樹額句合

僧主

都鳥

秀句

餅は世間をよせんのことを祝ふる義歟

のとうをもかさねんのことを祝ふる義歟

梅はよわくさはるまをもとめ和漢

芳名ヤ七種義の根ありり

けり　戸ヤ鄙のあるをの思ひと祭

彼先をとらるるらるるを入

るるるる

雙

[illegible]

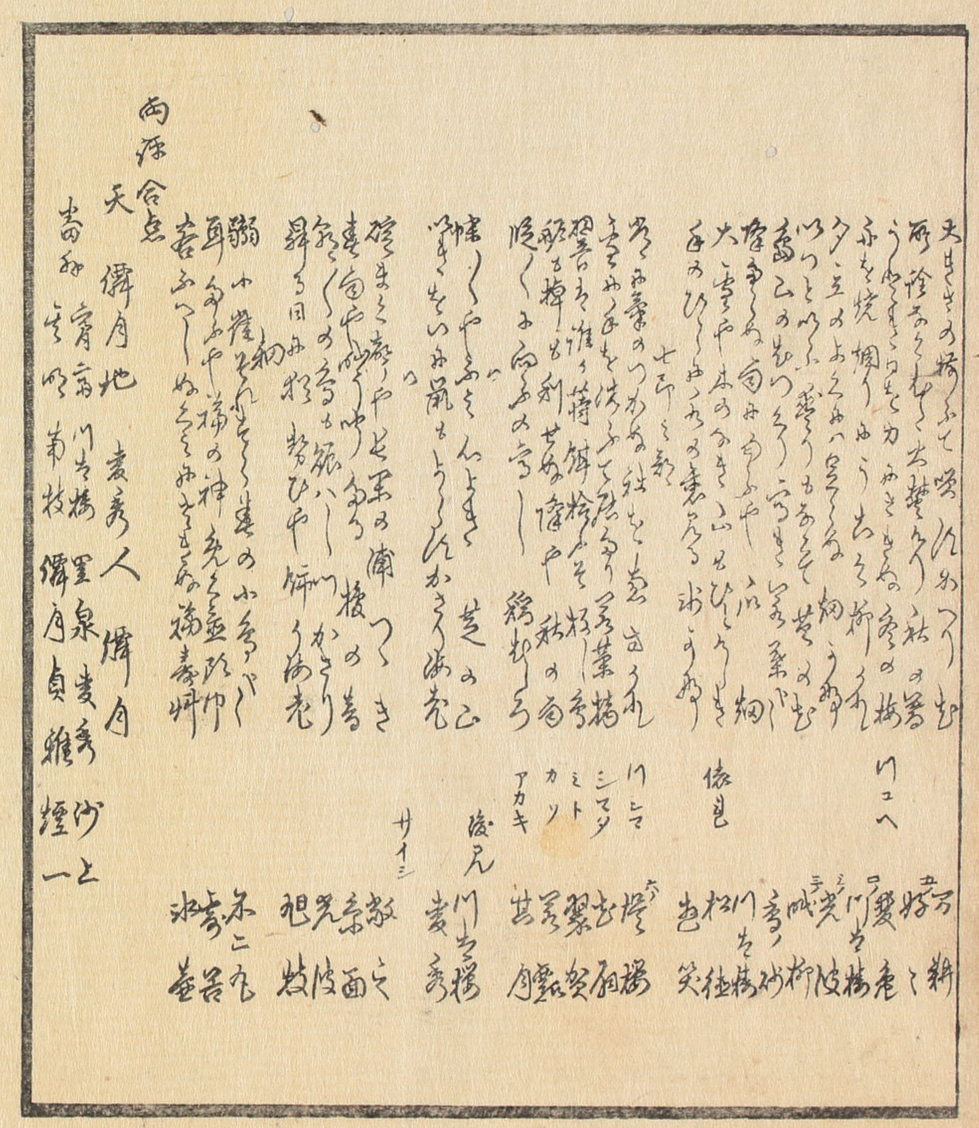
[illegible]

根

[illegible]

[illegible]

[illegible]



清花茶八幡宮社内にて為韓紙天月次幸俳甲寅三月分

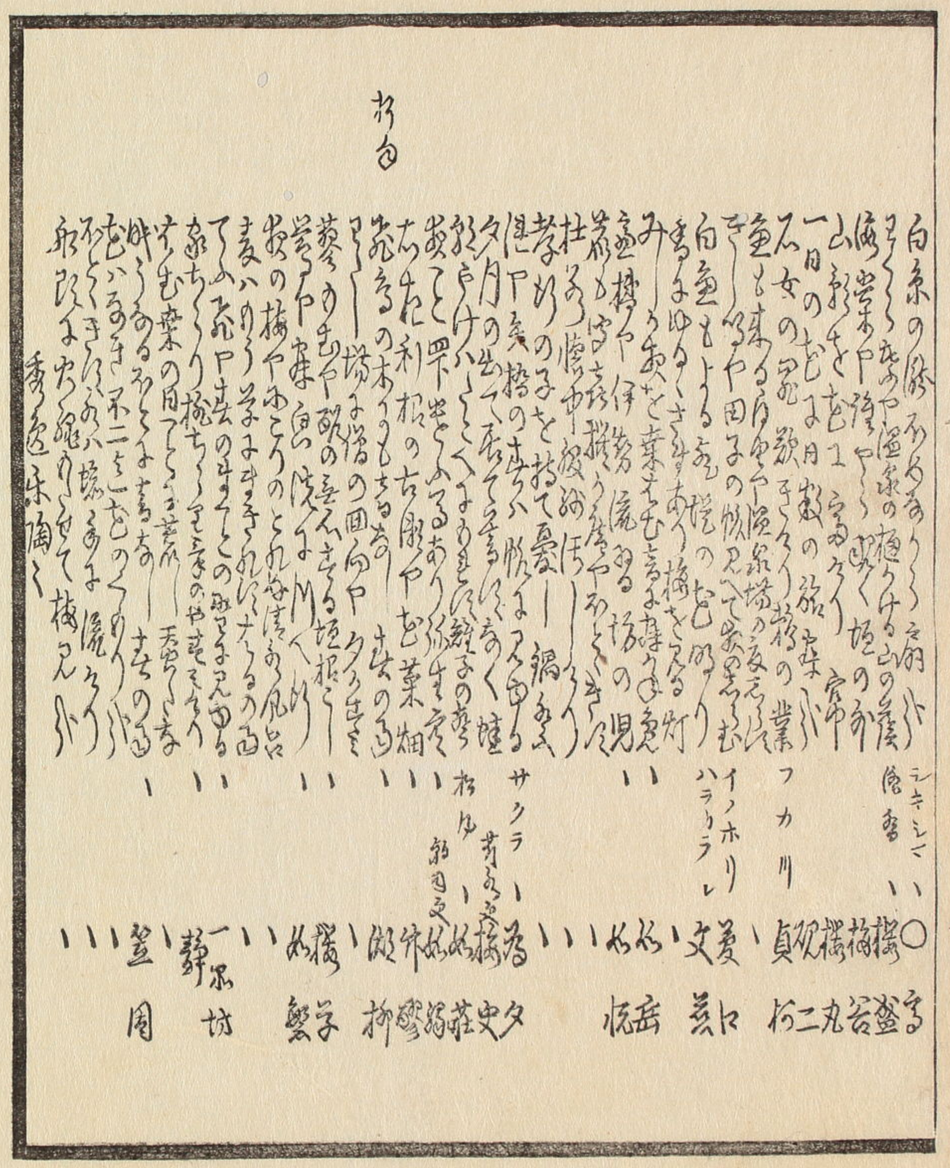
閑呼庵評

天(四五)ちかみ　地之　人(四〇五)　笠間

赤江　風翔　木公　京賀安　如猴　如窓

乗生　笠間　京賀安　一茶　(六五五)より　〇五五一テ

佐五郎ノア



情照堂子遊評

天 ㊀二〇 聲 地 ㊀四一 樓盛 人 ㊀〇〇 如風

か 李桃 横雲 風翔 及し晴 横登 況二

加光 夜桜 ゆ燈 末ス ㊀五〇 三月 〇〇〇カマテ

位五点ノア

[illegible]

[illegible]

[illegible]

開吟歌仙

天　吟陰　地　吾山人　梅柳

[illegible]

海棠や松木梅の　今　後住自雪　静

[illegible]

三吉[illegible]

浅草宮戸川太神宮掛額月並三句合

癸丑正月分

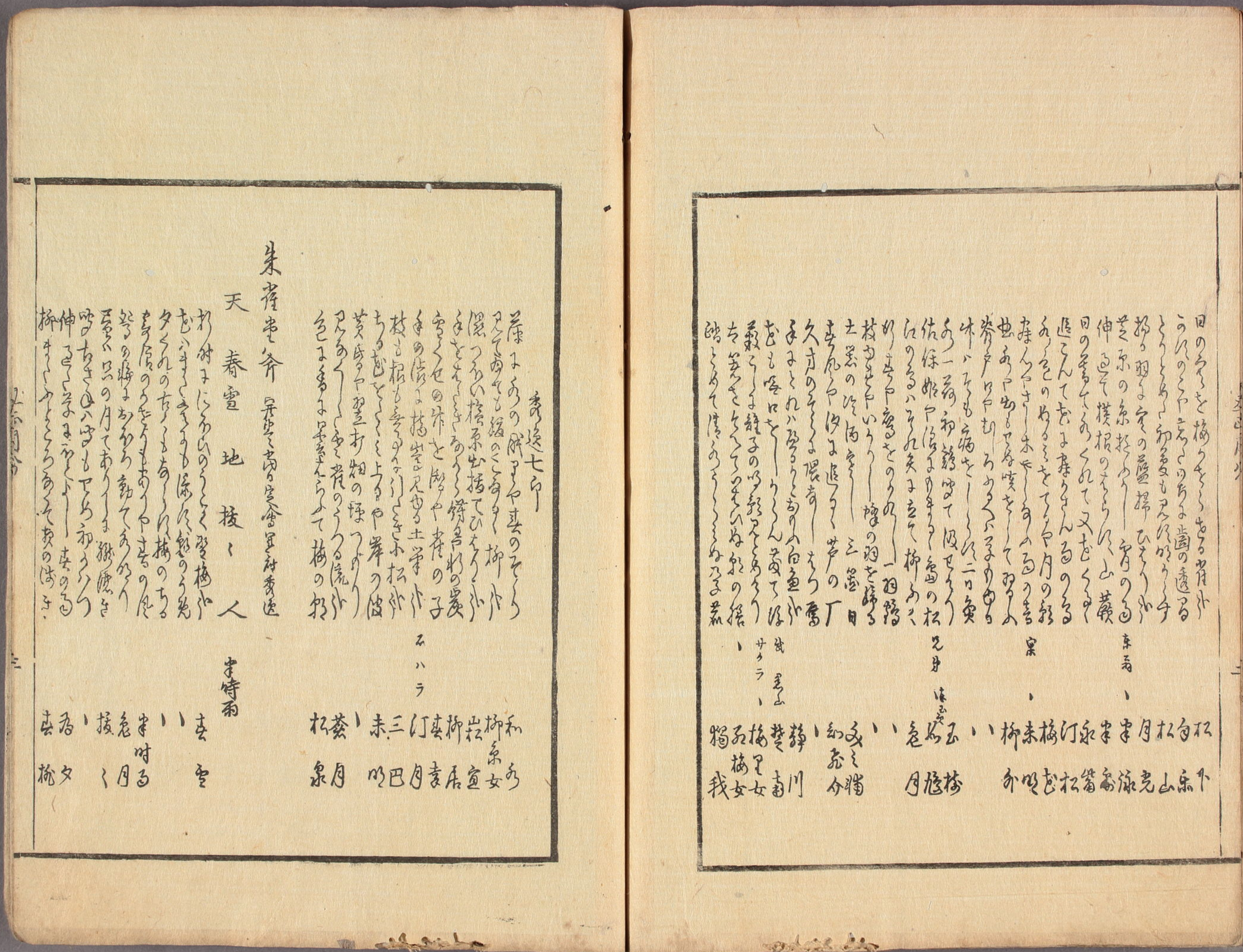
朱雀堂桂山斧

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



朱雀老斧

天　春雪　地　拔く　人　宋待雨

蔭義庭斧　あ行〜く

天　象　地　春桃　人　拔く

[illegible]

○

[illegible]

○

[illegible]

[illegible]

[illegible]

尾呼庵附詠

天

桂集

竹二人

爲夕

閑吟庵俳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ハウカウレ　文　葛
ハ　樣　壁
ハ　松　越
ハ　菊　色
五岡文　ハ　殘
ハ　花　二
ハ　所
ハ　青獄　三　星
ハ　松ぬ　貞　國
ハ　聲
ハ　カホルハ　ハ　ハ
ハ　イノホリ　美　口
ハ　蔡　考
ハ　ヨトレ　みち　浦
ハ　蔡　母
ハ　サクラウ　ハ　ハ
ハ　ハテしラハ　書　山　夕
ハ　キナハ　母　光
ハ　○　ハ　山　ハ
ハ　カシハシ　松　母　ハ
ハ　ルエ　一　花

蔡　國
ハ　ナマ
ハ　アサイ　ハ　ハ　松
ハ　カナイシレ　蔡　流

ハ　サクラ　ハ　星
ハ　書　調
ハ　蔡　角
ハ　蔡　ハ
ハ　マウカセレ
ハ　ハ　ハ
ハ　サル　工
ハ　蔡　ハ　ハ
ハ　二　竹
ハ　タハラレ　ハ　書
ハ　ウキこハ　蔡　蔡
ハ　ハ　國　蔡
ハ　ハ　ハ

文　葛
三　星
ウロコハ　蔡　笑
カホルハ　菊　松
子　佐　蔡　母
マウカセレ　蔡　母
蔡　流

文葉之所ろ〻ろ〻やいあるの面
紅されて紅葉紅振ふ舎人〻
秋はよ来鳴き紫やし雪 稜

六六坊 春樹 め稜

情無き子を恋ふ

天〇〇五 桜雪 地〇〇五 寒海 人〇〇五 桜雪

水 素谷 雪貴 寒春 外蓋 寒海
竹之 春及 寒陽 秋雪 〇五五月 〇〇四三月

佳ノ月

手ふ雪れ高ろて雪紅の雪紅
るの耳柳ろて雪る小雪ろ月
形鄉ろ行やろ〻〻の月ろ
雪の数を雪ろ〻行ろ
菊日新小秋の雪れ雪
窮奇ろ春るや数雪れ月
明雪や門ろ伊吕雪
第山子ろ秋の又ろ
明へろ兵秋や冬の虫
居雪ふ月ろ冬ろ
雪鳴ろ旅笠の領や
山ろ雪れ一くや数雪
ろ〻雪や日新島の
桜雪れ数雪紅強ろ
雪四ハ雪ろ
行人の第ぬ数ろ
雪居ろ日や伊紅ろ
雪ろ雪ハ雪れ雪ろ

マリカセレ
六六坊 桜花 一改
亜齋 水竹 月雪 雪蓬

タテハヤシ
雪山 陽鉾
雪貴 雪

六六坊 春樹 め稜

甲ろレ
桜月 雪月 雪月 桜月

二

ちる陰の明ろ前ろ雪ろ
紅雪雪や明ろ雪れて
雪ろ雪ろ月ろ又明雪
フ明や雪ろ雪ろ紅雪の
明雪雪や子ろれ月ろ
フ月雪ろ雪ろ
前雪れ島ろれ
神雪ろ雪雪雪
雪雪や桜ろ
雪紅雪雪雪
桜ろ紅ろ雪
て雪ろ雪雪れ
雪桜ろ雪明
中へろ雪ろ
稲紅雪雪雪
紅雪ろ雪ろ
紅雪ろ雪雪
関西の桜ろ雪
桜雪明ろ
桜雪ろ人の
雪雪ろ西
雪ろ雪ろ果
雪ろ雪雪
川雪や雪
雪例や桜
り桜雪雪
雪ろ桜ろ
雪雪や雪

タハラ、巴陵
桜雪、
、
故郷
アサ中
古桜
久蓋
桜雪

ハラカラレ
梅花
外林
紫
雪

梅花
陽
雪
、
竹
二蓋
、
南枝

カコルレ
知雪
ヨレハラ
桜雪
雪明
桜雪

ハナヒラレ
雪陵
ハサノラ
東雪

三

東京帝國大學圖書之印

○秋の月　和歌所

○秋の月　和歌所

○秋の月　和歌所

淺草宮戸川太神宮掛額月次三句合

癸丑七月分

朱雀堂桂山斧

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○ 蕃

おさい

秋のうるおひ

ハタ雲

ハタ雲

ハタ雲

雨夜